



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 タツタ電線株式会社

コード番号 5809 URL <http://www.tatsuta.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 外池 廉太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 柴田 徹也

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト・新聞記者向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	24,414	△10.2	2,127	△17.6	2,140	△20.7	1,562	△14.9
28年3月期第2四半期	27,195	△1.2	2,581	△10.6	2,700	△7.7	1,835	2.7

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 1,520百万円 (△1.9%) 28年3月期第2四半期 1,549百万円 (△19.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	24.49	—
28年3月期第2四半期	28.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	45,558	37,230	81.7	583.68
28年3月期	44,606	36,093	80.9	565.85

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 37,230百万円 28年3月期 36,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△5.9	4,000	△9.6	4,000	△12.2	2,750	△6.9	43.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	70,156,394 株	28年3月期	70,156,394 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	6,370,982 株	28年3月期	6,370,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	63,785,449 株	28年3月期2Q	63,786,394 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続きました。海外経済は、全体としては緩やかに回復しておりますが、中国をはじめとするアジア新興国の経済の先行きや、イギリスのEU離脱問題に伴い、不透明感が高まっております。資源価格についてはこれまで全般的に下落基調が続いておりましたが、原油価格は回復に転じました。一方、銅の国内価格は円高による影響もあって下落基調が続きました。

この間における我が国の銅電線需要は、建設・電販向けが伸び悩むなど、総じて低調に推移し、前年同四半期を下回るものとなりました。また、電子材料分野においては、スマートフォン需要全体の伸びが鈍化していることに加え、特に高機能モデルの需要が減少したことから、当社の主力製品である機能性フィルムの事業環境はさらに激しい状況となりました。

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、こうした環境のもと高付加価値品へのシフト、事業運営の効率化等、競争力強化のための各種取り組みを進めるとともに、引き続き新規周辺事業開発を推進してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は244億1千4百万円（前年同四半期実績比10.2%減）、営業利益は21億2千7百万円（前年同四半期実績比17.6%減）、経常利益は21億4千万円（前年同四半期実績比20.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億6千2百万円（前年同四半期実績比14.9%減）となりました。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

<電線・ケーブル事業>

銅価格の低下により売上高は137億5百万円（前年同四半期実績比9.4%減）となりましたが、販売数量の増加に加え、製品構成の改善とコストダウンに努めた結果、営業利益は4億6千4百万円（前年同四半期実績比34.7%増）となりました。

<電子材料事業>

主要製品であるスマートフォン等携帯端末向け機能性フィルムの需要が前年同四半期に比べ不調であったことを主因に、売上高は99億3千9百万円（前年同四半期実績比11.9%減）、営業利益は19億5千5百万円（前年同四半期実績比23.1%減）となりました。

<その他事業>

環境分析事業が減収となったこと等を主因に、売上高は7億8千4百万円（前年同四半期実績比0.5%減）、営業利益は7百万円（前年同四半期実績比92.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、受取手形及び売掛金の減少、棚卸資産の減少等はありませんでしたが、短期貸付金が増加し、総資産は9億5千1百万円増加し、455億5千8百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加、未払法人税等の増加に対し、長期借入金の返済による減少から、1億8千5百万円減少し、83億2千7百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金の計上により11億3千7百万円増加し、372億3千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期 通期累計期間（平成28年4月1日～平成29年3月31日）連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	51,000	4,000	4,000	2,750	43円11銭
今回発表予想 (B)	48,000	4,000	4,000	2,750	43円11銭
増減額 (B-A)	△3,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△5.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績	52,510	4,424	4,557	2,952	46円28銭

(修正の理由)

平成29年3月期通期の連結売上高について、主に銅価格が想定を下回って推移していることにより、平成28年7月27日に公表した前回業績予想から減収となる見込みです。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,595	1,198
受取手形及び売掛金	14,050	13,591
製品	1,958	1,794
仕掛品	3,371	3,176
原材料及び貯蔵品	782	576
繰延税金資産	310	299
短期貸付金	8,281	10,034
その他	454	385
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,804	31,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,987	5,068
機械装置及び運搬具（純額）	2,698	2,909
工具、器具及び備品（純額）	402	364
土地	3,908	3,908
建設仮勘定	421	537
有形固定資産合計	12,418	12,788
無形固定資産		
ソフトウェア	124	118
ソフトウェア仮勘定	3	24
施設利用権	5	5
その他	20	19
無形固定資産合計	154	167
投資その他の資産		
投資有価証券	668	855
長期前払費用	21	12
繰延税金資産	452	590
その他	95	94
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,229	1,546
固定資産合計	13,802	14,502
資産合計	44,606	45,558

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,291	3,702
1年内返済予定の長期借入金	1,010	-
リース債務	2	2
未払金	730	800
未払費用	1,174	1,141
未払法人税等	338	828
その他	595	465
流動負債合計	7,143	6,939
固定負債		
長期借入金	50	50
リース債務	2	1
退職給付に係る負債	704	718
環境対策引当金	112	106
事業構造改善引当金	247	234
資産除去債務	192	182
繰延税金負債	5	9
その他	55	84
固定負債合計	1,370	1,387
負債合計	8,513	8,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,536	4,536
利益剰余金	27,121	28,300
自己株式	△1,585	△1,585
株主資本合計	36,749	37,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203	180
繰延ヘッジ損益	△198	△124
為替換算調整勘定	19	△94
退職給付に係る調整累計額	△681	△659
その他の包括利益累計額合計	△656	△698
純資産合計	36,093	37,230
負債純資産合計	44,606	45,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	27,195	24,414
売上原価	20,931	18,240
売上総利益	6,264	6,174
販売費及び一般管理費	3,682	4,046
営業利益	2,581	2,127
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	8	8
厚生年金基金引当金戻入額	103	-
補助金収入	30	40
その他	31	45
営業外収益合計	179	99
営業外費用		
支払利息	9	8
固定資産廃棄損	33	0
為替差損	11	61
その他	7	16
営業外費用合計	61	86
経常利益	2,700	2,140
特別利益		
投資有価証券売却益	2	-
固定資産売却益	12	-
特別利益合計	15	-
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	1	-
特別損失合計	1	-
税金等調整前四半期純利益	2,714	2,140
法人税、住民税及び事業税	864	748
法人税等調整額	14	△169
法人税等合計	879	578
四半期純利益	1,835	1,562
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,835	1,562

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,835	1,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△23
繰延ヘッジ損益	△279	73
為替換算調整勘定	△2	△113
退職給付に係る調整額	7	22
その他の包括利益合計	△285	△41
四半期包括利益	1,549	1,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,549	1,520

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,714	2,140
減価償却費	604	733
のれん償却額	8	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	△42
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	92	87
総合設立厚生年金基金引当金の増減額(△は減少)	△106	-
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△9	△12
環境対策引当金の増減額(△は減少)	-	△5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△13	△12
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△2	-
補助金収入	△30	△40
支払利息	9	8
有形固定資産売却損益(△は益)	△13	△0
固定資産廃棄損	33	0
売上債権の増減額(△は増加)	△356	442
たな卸資産の増減額(△は増加)	△44	554
その他の資産の増減額(△は増加)	△90	58
仕入債務の増減額(△は減少)	△205	414
未払金の増減額(△は減少)	39	5
未払費用の増減額(△は減少)	50	△32
未払消費税等の増減額(△は減少)	△203	42
その他の負債の増減額(△は減少)	5	△12
小計	2,477	4,328
利息及び配当金の受取額	13	12
利息の支払額	△9	△8
法人税等の支払額	△1,161	△246
補助金の受取額	30	40
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,350	4,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△37	△207
有価証券の売却による収入	35	-
有形固定資産の取得による支出	△2,599	△1,114
有形固定資産の売却による収入	30	0
無形固定資産の取得による支出	△38	△41
短期貸付金の純増減額(△は増加)	1,546	△1,752
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△8	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,071	△3,121
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
長期借入金の返済による支出	△118	△1,010
配当金の支払額	△446	△382
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△566	△1,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△290	△397
現金及び現金同等物の期首残高	2,029	1,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,739	1,198

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,135	11,285	26,420	774	27,195	-	27,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	13	13	△13	-
計	15,135	11,285	26,420	787	27,208	△13	27,195
セグメント利益	344	2,542	2,887	93	2,981	△399	2,581

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機器システム製品事業、環境分析事業、光部品事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△399百万円は、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△404百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,705	9,939	23,645	769	24,414	-	24,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	14	14	△14	-
計	13,705	9,939	23,645	784	24,429	△14	24,414
セグメント利益	464	1,955	2,420	7	2,427	△300	2,127

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機器システム製品事業、環境分析事業、光部品事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△300百万円は、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△305百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。